ア　総合職試験名簿等からの採用状況

総合職試験（院卒者試験及び大卒程度試験）の名簿は、従来のⅠ種試験同様３年間有効であり、総合職試験（院卒者試験及び大卒程度試験）からの平成25年度の採用者数は381人となっている。また、Ⅰ種試験名簿からの平成25年度の採用者数は87人となっている。平成25年度における、総合職試験からの採用者数及びⅠ種試験名簿からの採用者数の合計は468人であり、平成24年度における平成23年度Ⅰ種試験からの採用者数の549人と比べ、81人減少している。これは平成23年度から国家公務員の新規採用抑制が行われたことによる影響があると考えられる。なお、「国家公務員の新規採用の方針について」（平成25年３月26日閣議決定）により、平成26年度の新規採用については、採用上限値を定める方式は廃止された。また、平成26年３月31日現在における名簿残存者数は、総合職試験190人、Ⅰ種試験21人の計211人となっている。残存者の中には、大学院修士課程等への進学等のため採用希望時期の延期を申し出ている者が多く含まれている（表１－３、表１－４）。

表１－４　国家公務員採用Ⅰ種試験及び国家公務員採用総合職試験の年度別、学歴別の合格者数及び採用者数

（単位：人、％）

学歴	項目	名簿作成年度（採用年度）	国家公務員採用Ⅰ種試験					国家公務員採用総合職試験	
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		平成24年度	平成25年度
			（平成21年度）	（平成22年度）	（平成23年度）	（平成24年度）	（平成25年度）	（平成25年度）	
大学院・大学	国立	合格者数	1,153 (74.6)	1,130 (75.6)	1,018 (77.5)		1,061 (76.3)	1,035 (71.0)	1,377 (73.2)
		採用者数	472 [78.0]	477 [79.0]	400 [82.1]	452 [82.3]	70 [80.5]	305 [80.1]	
	公立	合格者数	40 (2.6)	36 (2.4)	25 (1.9)		27 (1.9)	38 (2.6)	55 (2.9)
		採用者数	6 [1.0]	9 [1.5]	5 [1.0]	8 [1.5]	2 [2.3]	8 [2.1]	
	私立	合格者数	339 (21.9)	320 (21.4)	265 (20.2)		297 (21.4)	380 (26.1)	440 (23.4)
		採用者数	125 [20.7]	118 [19.5]	80 [16.4]	88 [16.0]	15 [17.2]	68 [17.8]	
	計	合格者数	**1,532 (99.2)**	**1,486 (99.5)**	**1,308 (99.5)**		**1,385 (99.6)**	**1,453 (99.7)**	**1,872 (99.5)**
		採用者数	**603 [99.7]**	**604 [100.0]**	**485 [99.6]**	**548 [99.8]**	**87 [100.0]**	**381 [100.0]**	
その他		合格者数	13 (0.8)	8 (0.5)	6 (0.5)		5 (0.4)	4 (0.3)	9 (0.5)
		採用者数	2 [0.3]	0 [0.0]	2 [0.4]	1 [0.2]	0 [0.0]	0 [0.0]	
合　計		合格者数	**1,545 (100.0)**	**1,494 (100.0)**	**1,314 (100.0)**		**1,390 (100.0)**	**1,457 (100.0)**	**1,881 (100.0)**
		採用者数	**605 [100.0]**	**604 [100.0]**	**487 [100.0]**	**549 [100.0]**	**87 [100.0]**	**381 [100.0]**	

（注）１　（　）内は、合格者総数に対する割合（％）を、［　］内は、採用者総数に対する割合（％）を示す。
２　「その他」は、短大・高専、外国の大学等である。
３　国家公務員採用総合職試験は、院卒者試験（法務区分を含む。）及び大卒程度試験（教養区分を含む。）を合計した人数である。
４　採用者数は、名簿作成年度の翌年度における採用者数である（過年度名簿等からの採用者を含む。例えば、平成23年度Ⅰ種試験の平成24年度採用者数には、平成23年度名簿からの採用者のみならず、平成22年度名簿、平成21年度名簿からの採用者を含む。また、平成24年度総合職試験の平成25年度採用者数は平成24年度総合職試験名簿からの採用者と平成25年度総合職試験名簿からの平成25年度内採用者を含む。）。

イ　一般職試験名簿等からの採用状況

一般職試験（大卒程度試験）名簿からの採用者数は970人（なお、平成24年度における平成23年度Ⅱ種試験名簿からの採用者と比べると749人減少）、一般職試験（高卒者試験）名簿からの採用者数は305人（平成24年度における平成23年度Ⅲ種試験名簿（税務区分を除く。）からの採用者数と比べると100人減少）となっている（表１－３）。採用者数が減少した背景は、平成25年度の新規採用者についても、平成24年度と同様、各府省の採用上限値が定められたことによる影響があると考えられる。

平成24年度からの試験制度の見直しにより、一般職試験（大卒程度試験）名簿の有効期間は、同試験の合格後、大学院への進学等を経て採用されることも可能となるよう、総合職試験と同様に３年間とされた。平成26年３月31日現在における残存者数は20人となっている。残存者の中には、大学院修士課程等への進学等のため採用希望時期の延期を申し出ている者も多く含まれている。

⑵　採用試験に準ずる試験による採用

特許庁で採用する意匠学や農林水産省及び厚生労働省で採用する獣医学等の専門的知識又は技術を必要とする官職については、採用予定数が少ないこと等から正規の試験は行っていないが、選考の一形態として「正規の試験に準ずる試験」を行っている。試験の内容及び方法は、正規の試験とほぼ同様であり、人事院は、基礎能力試験問題の提供、専門試験問題の作成指導等の援助を行っている。

平成25年度においては、「総合職試験（院卒者試験）に準ずる試験」として獣医学区分、「総合職試験（大卒程度試験）に準ずる試験」として意匠学区分、「一般職試験（大卒程度試験）に準ずる試験」として畜産及び造船工学の２区分について実施した。

なお、平成24年度に実施した「総合職試験（院卒者試験）に準ずる試験」により採用された者は12人、「総合職試験（大卒程度試験）に準ずる試験」により採用された者は１人、「一般職試験（大卒程度試験）に準ずる試験」により採用された者は７人となっている。

２　「一般職の国家公務員の任用状況調査」の実施

人事院では、一般職の国家公務員の任用実態を把握し、今後の任用施策等人事行政全般の検討に資するため、「一般職の国家公務員の任用状況調査」（以下「任用状況調査」という。）を毎年実施している。平成25年度における任用状況調査は、平成24年度に在職した一般職の国家公務員を対象として実施した。

⑴　在職状況

平成25年１月15日現在の一般職の職員（休職者、専従休職者、国際機関等派遣職員、交流派遣職員及び育児休業職員を含み、検察官、臨時的任用の職員、常勤労務者及び非常勤職員を除く。）の在職者数（同日付けで辞職した者を除く。）は337,091人であり、前年と比べ814人減少している。

このうち、給与法適用職員は268,718人（前年比2,439人減）、給与特例法適用職員は4,505人（同118人減）、特定独立行政法人職員は62,801人（同1,731人増）となっている（図１－２）。

なお、在職者を男女別にみると、男性は250,866人、女性は86,225人であり、その構成比は男性74.4％、女性25.6％となっている。